

1. セクション 1: 物質/混合物の名称および企業の名称

1.1 製品識別名

製品名	PBX Cement
化学物質名	混合物。
CAS 番号	混合物。
EINECS 番号	混合物。
REACH 登録番号	割り当てられていない。

1.2 当該物質または混合物の記載されている重要用途および 指導対象の用途

記載されている用途	PC14 金属表面処理用製品 (電気めっき用製品を含む)
~ に対して助言された用途	知られていない。

1.3 安全性データシート供給者の詳細

会社情報	VISHAY MEASUREMENTS GROUP UK LTD Stroudley Road Basingstoke Hampshire RG24 8FW United Kingdom
電話	+44 (0) 1256 462131
F a x	+44 (0) 1256 471441
E メール(担当者)	mm.uk@vishaypg.com

1.4 緊急電話番号

(00-1) 703-527-3887
CHEMTREC

2. セクション 2: 危険有害性の要約

2.1 物質または混合物の分類

2.1.1 欧州 CLP 規則 (No.1272/2008) 特定臓器毒性(反復暴露) 区分 1; H372

2.2 表示要素

欧州 CLP 規則 (No.1272/2008) によれば

製品名 PBX Cement

危険性を表す絵文字



注意喚起語

危険

次を含有する:

二酸化ケイ素

危険有害性情報

H372: 長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害。肺。

危険有害性情報

P260: 粉塵を吸入してはならない。

P270: 本製品を取り扱っているときに、飲食、喫煙を行なってはならない。

P264: 取り扱いの後手と暴露された皮膚を徹底的に洗う。

P280: 保護手袋/保護服/保護眼鏡/保護面を着用する。

P314: 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受ける。

追加情報

なし。

2.3 他の危険有害性

なし。

3. セクション 3: 組成/成分情報

3.2 混合物

EC 分類 欧州CLP規則 (No.1272/2008)

物質の化学的特定名	%W/W	CAS 番号	EC 番号	REACH登録番号	危険有害性情報
二酸化ケイ素	30 - 50	14808-60-7	238-878-4	割り当てられていない。	特定臓器毒性(反復暴露) 区分 1; H372
Aluminium oxide	5 - 15	1344-28-1	215-691-6	割り当てられていない。	分類されていない。
Chromium oxide	< 5	1308-38-9	215-160-9	割り当てられていない。	分類されていない。

H372: 長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害。

4. セクション 4: 応急処置



4.1 応急処置の説明

吸入

吸入した場合: 呼吸が困難な場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受ける。体調に異変があった場合は、中毒センターまたは医師に連絡すること。

皮膚接触

固着していない粒子を皮膚から払い落とす。皮膚を大量の水で流すこと。汚染された衣服は徹底的に洗濯する。症状がすすんだ場合、医師の治療を受ける。

目の接触

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激があらわれたり続く場合、医師の手当てを受けること。

摂取

飲み込んだ場合は、水で口をすすがせる。(但し、意識がある場合のみ)。無理

- | | | |
|-----|--------------------------------|--|
| 4.2 | 最も重要な症状および作用 (急性および遅発性) | に吐かせない。症状がすすんだ場合、医師の治療を受ける。 |
| | | 長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害: 肺。気道の機械的刺激。皮膚および眼の機械的刺激。 |
| 4.3 | 医師の手当てと特別な処置が直ちに必要な状態 | 症状によって処置する。 |

5. セクション 5: 火災時の措置

- | | | |
|-----|------------------------------|--|
| 5.1 | 消火剤 | |
| | 適切な消火剤 | 非引火性。周辺の火災に適切な。望ましくは、粉末消火器、砂または炭酸ガスで消火する。 |
| | 不適切な消火剤 | ウォータージェットを使用しない。直接水を噴射すると火災が広がる可能性があります。 |
| 5.2 | 当該物質または混合物に起因する特別な危険性 | 火災の時分解されて、有毒な煙を発生することがある。 |
| 5.3 | 消防士へのアドバイス | 消火作業員は自給式呼吸器を含む完全な保護服を着用すること。フュームを吸入してはならない。火災の場合、容器に水を噴霧して冷却する。水路や下水への混入を避けること。 |

6. セクション 6: 漏出時の措置

- | | | |
|-----|-------------------------------|---|
| 6.1 | 人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置 | 適切な換気を確保する。安全に対処できるならば漏洩をとめる。粉塵を吸入してはならない。皮膚、眼および衣服との接触を避けること。必要な個人用保護具を使用する。次の項を参照: 8. |
| 6.2 | 環境的予防措置 | 環境に排出しないようにする。排水路、下水道または水路に入らないようにする。 |
| 6.3 | 封じ込めと清掃のための方法および資材 | 粉じんを発生させないように流出物を掃除する。水で濡らすと粉じんを減少させることができる。廃棄用の容器に移す。漏出した場所に多量の水を流して洗ってください。 |
| 6.4 | 他のセクションの参照先 | 次の項を参照: 8, 13 |

7. セクション 7: 取扱いおよび保管上の注意

- | | | |
|-----|-------------------------------|--|
| 7.1 | 安全な取り扱いのための注意事項 | 適切な換気を確保する。粉塵を吸入してはならない。皮膚、眼および衣服との接触を避けること。必要な個人用保護具を使用する。次の項を参照: 8. 本製品を取り扱っているときに、飲食、喫煙を行なってはならない。休憩前及び作業後には手を洗うこと。 |
| 7.2 | 安全な貯蔵のための条件 (不適合条件を含む) | 他の容器に移し替えてはならない。換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 |
| | 保管温度 | 常温の。 |
| | 保管期間 | 普通の状態で安定。 |
| | 混触危険物質 | 次のものから離して保管する。酸類、アルカリ類。と強酸化物類。 |

7.3 具体的最終用途

PC14 金属表面処理用製品 (電気めっき用製品を含む)。次の項を参照: 1.2

8. セクション 8: 曝露防止及び保護措置

8.1 管理指標

8.1.1 職業曝露限度

確立されていない。

8.1.2 生物学的限界値

確立されていない。

8.1.3 PNEC および DNEL

確立されていない。

8.2 曝露管理

8.2.1 適切な工学的管理

適切な換気を確保する。または適切な封じ込めを行うこと。職業曝露限度の規定に基づいて、空中濃度を管理しなければならない。きれいな水の入っている洗眼液の瓶を携帯する。

8.2.2 個人用保護具 (PPE) などの個人保護措置

化学物質取り扱いのための一般的な衛生手段が適用できる。粉塵を吸入してはならない。皮膚、眼および衣服との接触を避けること。休憩前及び作業後には手を洗うこと。作業着は分けて保管すること。汚染された衣服は徹底的に洗濯する。作業場所では飲食、喫煙を行なってはならない。

目/顔面の保護



側板付き保護めがね (EN166) を着用すること。

皮膚の保護



手の保護: 不浸透性手袋を着用すること。浸透の問題を避けるため、手袋は定期的に交換すること。手袋素材の浸透時間: 手袋メーカーの情報を参照。

体の保護: 防塵保護服を着用すること。

呼吸器の保護



適切な換気の無い場所では使用しないこと。換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。加工または取り扱い中に粉塵が発生する場合、承認された防塵マスクを着用すること。

熱の危険性

該当なし。

8.2.3 環境曝露コントロール

環境に排出しないようにする。

9. セクション 9: 物理的および化学的性質

9.1 基本的な物理化学的特性についての情報

外観

緑色。無臭。粉末。

におい

無臭。

臭いの閾値

資料なし。

pH

確立されていない。

融点/凝固点

資料なし。

初留点と沸騰範囲

資料なし。

改訂: 2.0 日付: 08.07.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 453/2010 によれば

www.vishaypg.com

引火点	該当なし。
蒸発速度	該当なし。
燃焼性 (固体、ガス)	非引火性。
上限/下限可燃性または爆発限界	資料なし。
蒸気圧	該当なし。
蒸気密度	該当なし。
相対密度	4.0 (H ₂ O=1)
溶解度	無視してよい。
分配係数: n-オクタノール/水	資料なし。
自然発火温度	資料なし。
分解温度	資料なし。
粘度	資料なし。
爆発性	非爆発性。
酸化性	非酸化性。
9.2 その他の情報	なし。

10. セクション 10: 安定性および反応性

10.1 反応性	普通の状態安定。
10.2 化学的安定性	普通の状態安定。
10.3 危険な反応の可能性	普通の状態安定。
10.4 避けるべき条件	熱と直射日光を避ける。次の値を超えない温度(°C)で保管する: 48.9°C
10.5 混触危険物質	次のものから離して保管する。酸類、アルカリ類、と強酸化物類。
10.6 危険有害性分解生成物	火災の時分解されて、有毒な煙を発生することがある。

11. セクション 11: 有害性情報

11.1 毒性に関する情報 (製剤/混合物中の物質)

急性毒性

摂取

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
急性毒性推定混合計算: 推定 LC50 > 2000 mg/kg 体重/日。

吸入

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
急性毒性推定混合計算: 推定 LC50 > 5 mg/l。

皮膚接触

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
急性毒性推定混合計算: 推定 LC50 > 2000 mg/kg 体重/日。

皮膚腐食性/刺激性

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

生殖細胞変異原性

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

改訂: 2.0 日付: 08.07.2015

www.vishaypg.com

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 453/2010 によれば

発がん性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
生殖毒性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
特定標的臓器への毒性 (単回暴露)	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
特定標的臓器への毒性 (反復暴露)	特定臓器毒性(反復暴露) 区分 1: 長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害: 肺。
吸引性呼吸器有害性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
11.2 その他の情報	なし。

12. セクション 12: 環境影響情報

12.1 毒性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 推定 混合物。LC50 >100 mg/l (魚類)
12.2 残留性および分解性	難分解性なし。
12.3 生物蓄積性	この製品は生物濃縮の可能性が低い。
12.4 土壌中の移動度	混合物全体としてのデータはありません。
12.5 PBT および vPvB 評価の結果	PBT または vPvB に分類されない
12.6 その他の有害な作用	知られていない。

13. セクション 13: 廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理法	法律に従い、前処理後にしかるべき危険廃棄物焼却施設に送ること。
13.2 追加情報	内容物を国、都道府県、市町村の法規に従って廃棄する。

14. セクション 14: 輸送上の注意

	ADR/RID / IMDG / IATA
14.1 国連番号	UN 3316
14.2 UN 適切な船積み名	CHEMICAL KIT (When shipped with PBX Solvent)
14.3 輸送危険分類	9
14.4 輸送危険分類	II
14.5 環境に対する危険	海洋汚染物質として分類されていない。/ 環境的に有害な物質
14.6 使用者に対する特別な注意事項	次の項を参照: 2
14.7 MARPOL 73/78 Annex II および IBC コードに準拠したバルク輸送	該当なし。
14.8 追加情報	なし。

15. セクション 15: 適用法令

15.1 特に当該物質または混合物に関する安全性、健康および環境についての規制/法律	
--	--

改訂: 2.0 日付: 08.07.2015

www.vishaypg.com

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 453/2010 によれば

15.1.1 EU規制

高懸念物質 (SVHCs)

なし。

15.1.2 国の規制

Wassergefahrdungsklasse(ドイツ)

水質危険クラス: 無害の原料

15.2 化学物質安全性評価

資料なし。

16. セクション 16: その他の情報

以下の項には改訂または新しい内容が含まれる: 1-16.

参考文献: 既存の安全データシート(SDS), 既存の ECHA 登録 Aluminium oxide (CAS# 14808-60-7) と Chromium oxide (CAS# 1308-38-9), と 以下の分類: 表示インベントリ 二酸化ケイ素 (CAS# 14808-60-7).

物質または混合物の分類 欧州 CLP 規則 (No.1272/2008) によれば	分類手順
特定臓器毒性(反復暴露) 区分 1; H372	閾値計算

注釈

LTEL	長期暴露限界
STEL	短時間暴露限界
DNEL	求められた無影響量
PNEC	推定無影響濃度
PBT	PBT: 難分解性、生物蓄積性、毒性
vPvB	高難分解性、高生物蓄積性

研修アドバイス: 検討事項は、より高度なレベルの予防が必要になるかどうか決定するため、作業手順に関わることや将来的な被曝の程度に影響を及ぼします。

免責事項

記載の情報もしくは他の方法で提供された情報は最善の知見に基づき、誠意を持って提供しております。使用者は、これを参考として自らの責任において個々の取り扱い等の実態に応じ、適切なる措置をお取り願います。Vishay Precision Group はいかなる用途に対しても製品の適合性に関して保証するものではありません。法による場合を除き、暗黙の保証や条件(法的なあるいはそうでない)はございません。Vishay Precision Group は、この情報に起因する損失または損害の責任を負うものではありません(欠陥製品が原因で死亡もしくは負傷し、そのことが証明された場合を除き)。特許、著作権および意匠のもと自由な使用权があるということではありません。

拡張安全性データシート(eSDS)の付録

利用可能な情報なし。